

2026年3月期 決算説明会

2026年5月15日



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO., LTD.

新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO., LTD.

- 01 事業内容**
- 02 中期経営計画2025-2027概要と進捗**
- 03 2026年3月期決算概要**
- 04 2027年3月期業績予想**
- 05 株主還元**
- 06 トピックス**

01 事業内容

大目標：世界中のガス事故をなくす

ガスセンサの研究開発・製造から、それらを搭載した家庭用・産業用ガス警報器および火災警報器等の開発・製造・販売・メンテナンスを一貫して行っています。



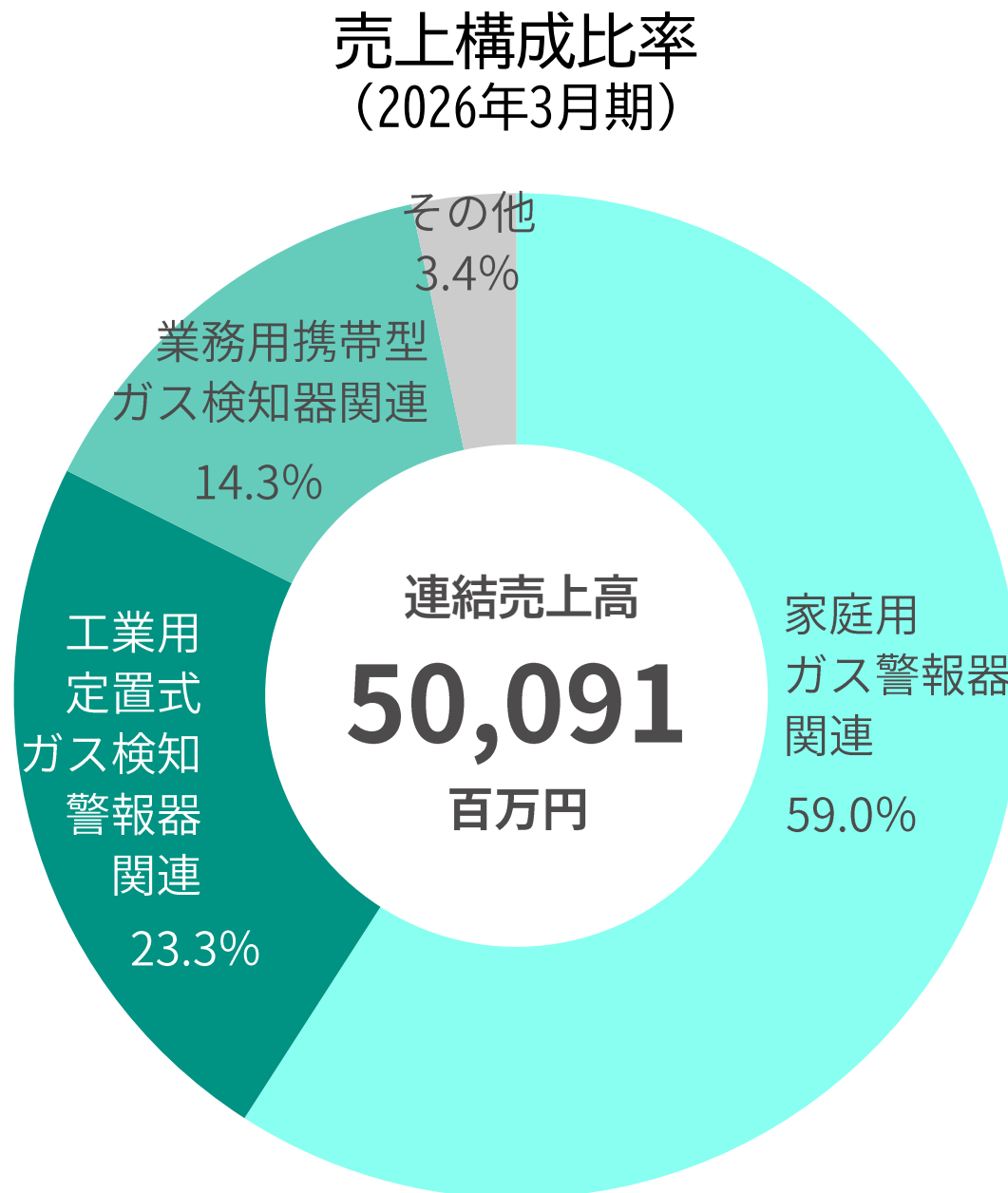
当社の強み

OUR STRENGTH
1

家庭用も産業用もを手掛けるガス警報器メーカーは国内で当社のみ



産業用
ガス検知警報器



家庭用
ガス警報器



国内シェア
NO.1

当社の強み

OUR STRENGTH
2

グループ全体で世界トップレベルのガスセンサ生産能力



コスモスセンサセンター（兵庫県三木市）



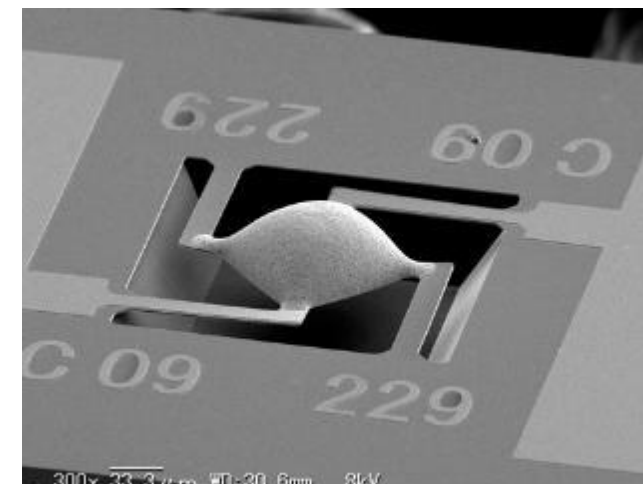
淀川工場（大阪府大阪市）

OUR STRENGTH
3

独自のMEMS熱線型半導体式センサ



MEMS熱線型半導体式センサ



センサ素子は0.1mm四方で
体積1/500、消費電力1/600
(当社従来比)を実現

02 中期経営計画2025-2027概要と進捗

定性目標 / 計画の概要

定性目標 MEMSガスセンサ技術を軸にグローバルに展開し、
ガス事故ゼロとカーボンニュートラル社会の実現に貢献する

展開 (投資の収益化)

1. 北米向け電池式メタン警報器の市場拡大
2. 半導体市場における売上拡大
3. MEMSガスセンサの量・質の充実



北米向け
電池式メタン警報器



半導体市場向け
ガス検知器



MEMSガスセンサ



車載用水素ディテクタ



家庭用
電池式水素ガス警報器

拡張 (将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり)

1. 欧州を中心としたカーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり
2. 電池式LPガス・水素警報器の開発・普及

計画の進捗（1/3）

展開（投資の収益化）

1. 北米向け電池式メタン警報器の市場拡大

● 市場動向

NY市の設置猶予期限延長（2025年5月⇒2027年1月以降）に伴い、第3四半期以降は住宅オーナー向けの需要が落ち着いた

ホームセンター（Lowes）やネットショップ（HD Supply）の採用増

エネルギー事業者（ConEdison）向けは計画通り、その他事業者へもサンプル提供を進めている

● 生産体制

ガスセンサ：国内自社生産（三木市、大阪市）で、年間200万個生産体制は確保

今中期経営計画期間中（2028年3月末まで）に300万個生産体制を構築予定（計画通り）

製品の組立：国内からメキシコ工場に移管を進め、現在ほぼメキシコ工場で組立供給体制に問題なし

● 今後の見通し

各州の義務化動向に大きく左右される

中長期的にはアメリカ全土へ設置義務化が広がり、需要は右肩上がりに伸びると予測



計画の進捗（2/3）

展開（投資の収益化）

2. 半導体市場における売上拡大

- **市場動向と当社ポジション**

当社の半導体市場向け製品の売上は中国・台湾・日本で大半を占める
中国の景気低迷の影響を受けて第3四半期までは売上が低迷していたが、第4四半期に入り生成AI・データセンター向けの需要が増え、回復傾向にある
現在、欧米市場の営業活動に注力

- **当社製品の強み**

熱分解コンバーター一体型のNF3（三フッ化窒素）、COS（硫化カルボニル）センサユニットを開発

- **今後の見通し**

中国の景気動向に大きく左右されるが、今期は徐々に持ち直すと予測



計画の進捗 (3/3)

拡張 (将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり)

1. 欧州を中心としたカーボンニュートラル (水素) 市場の基盤づくり

- 市場動向

欧州市場は予想を下回るスピードだが、水素推進方針は維持
車載用水素ディテクタはFCバスやトラック等へのサンプル提供が順調に進んでいる

- 当社の取り組み

パリ事務所を中心に、水素関連展示会への出展、WEB施策を強化中
各種認証取得を進行中



車載用水素ディテクタ

2. 電池式LPガス・水素ガス警報器の開発・普及

- 家庭用電池式水素ガス警報器

2025年5月に開発、2026年3月に認証 (EN50194) 取得完了

- 家庭用電池式LPガス警報器

2026年度中に上市予定で準備中

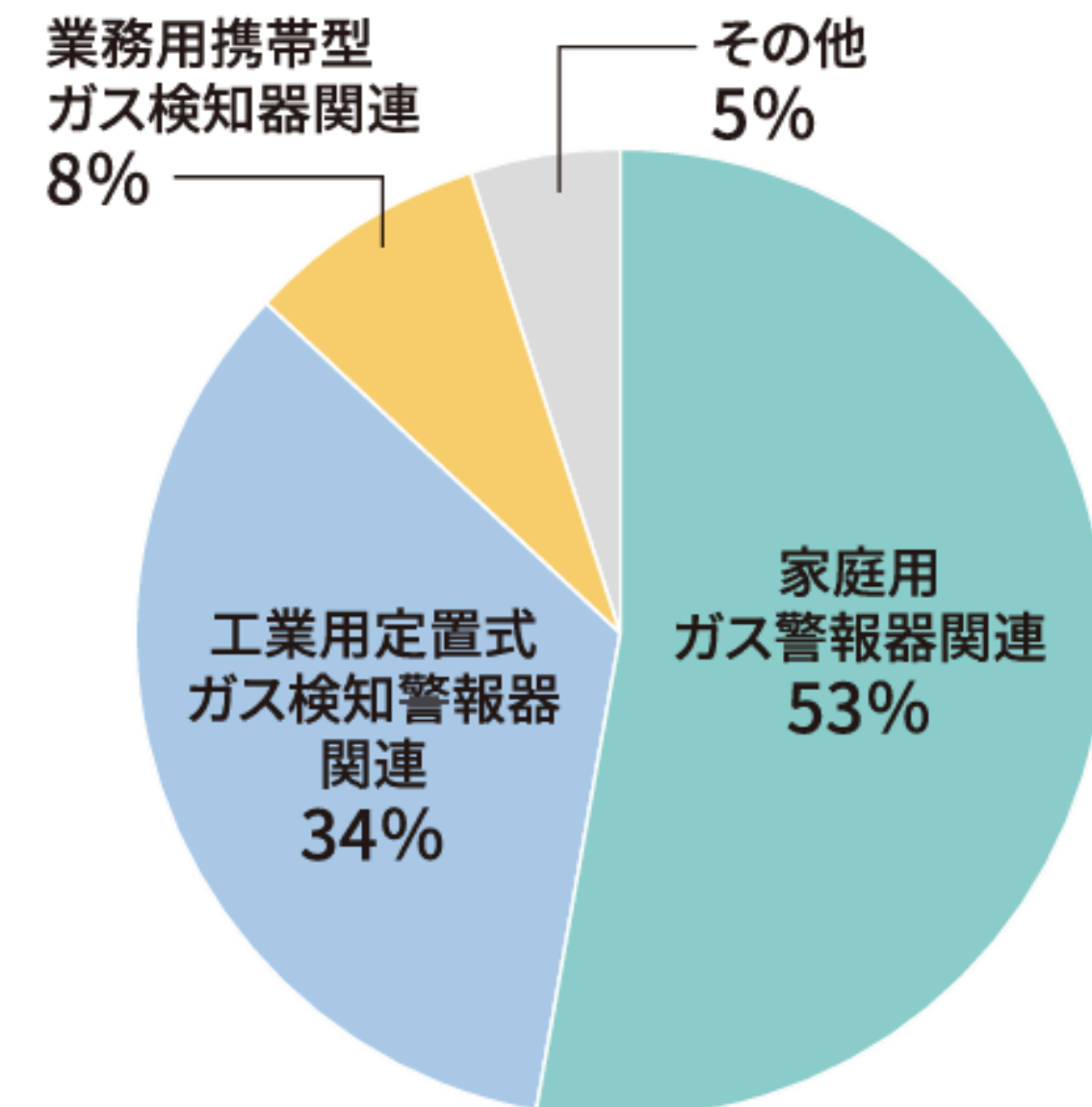


家庭用
電池式水素ガス警報器

定量目標／計画の概要と進捗

	2026年3月期 (実績値)	2028年3月期 (目標)
連結売上高	500.9億円	600億円以上
海外売上高比率	51.8%	50%以上
営業利益率	14.7%	12.5%以上
PBR	1.1	1.0
ROE	10.3%	8.5%
ROIC	8.4%	8.0%

セグメント別売上構成 (2028年3月期)



03 2026年3月期決算概要

損益計算書 (P/L)

- 売上高は前期比18.8%増。営業利益は前期比42.6%増となり増収増益。
- 第4四半期は第3四半期と比べると売上高、営業利益ともに増加傾向。季節的な要因もあり国内が好調に推移したことが要因。

(単位：百万円)

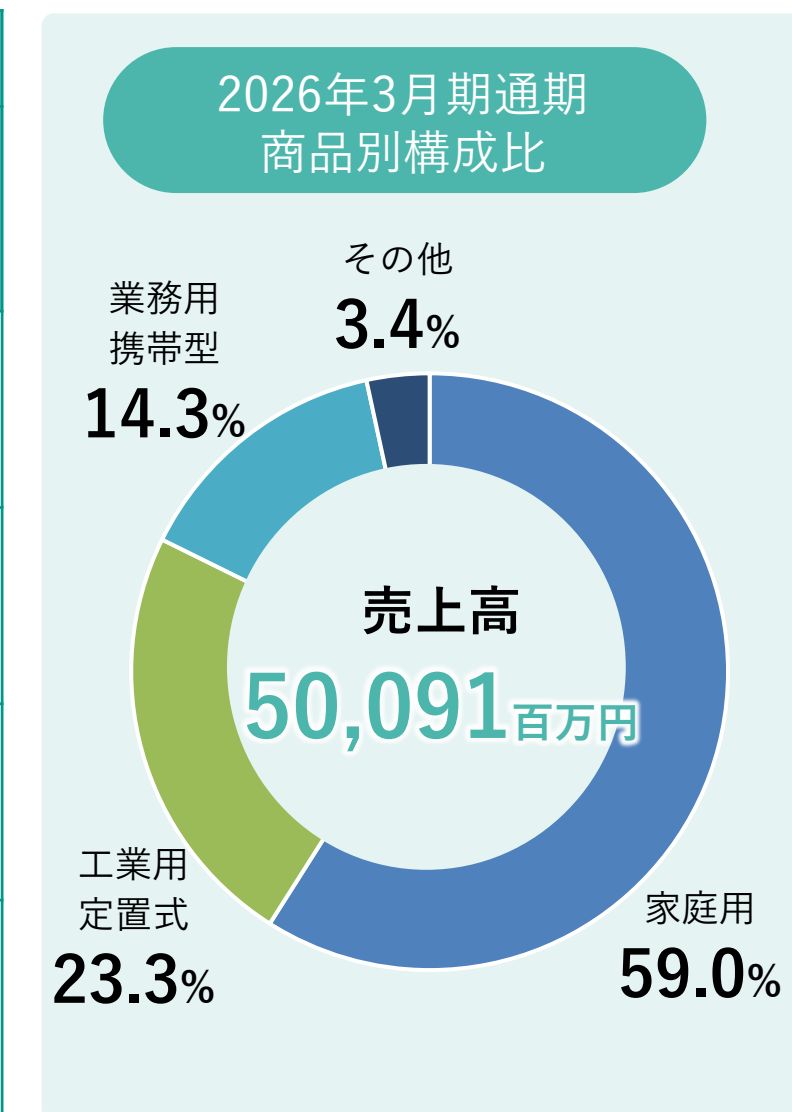
	2025年3月期					2026年3月期					前期比 増減率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	
売上高	9,446	10,768	9,296	12,641	42,153	10,985	13,648	12,131	13,325	50,091	18.8%
営業利益 (%は営業利益率)	1,317 (13.9%)	2,052 (19.1%)	1,003 (10.8%)	780 (6.2%)	5,155 (12.2%)	1,596 (14.5%)	2,421 (17.7%)	1,554 (12.8%)	1,778 (13.3%)	7,351 (14.7%)	42.6%
経常利益	1,581	1,812	1,328	728	5,451	1,545	2,459	1,895	2,021	7,921	45.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	800	1,233	832	510	3,376	955	1,761	1,296	1,195	5,208	54.2%

商品別の概況

- 家庭用：北米向け電池式メタン警報器および警報器用ガスセンサの販売が好調。
- 工業用：半導体業界向けガス警報器およびガスセンサの販売が低調。
- 携帯用：国内の化学業界向けガス検知器およびアルコール検知器の販売が好調。

(単位：百万円)

	2025年3月期					2026年3月期					前期比 増減率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	
家庭用	5,099	5,237	4,801	6,596	21,735	7,043	8,366	7,232	6,963	29,605	36.2%
工業用 定置式	2,537	3,102	2,657	3,695	11,993	2,085	3,001	2,902	3,671	11,661	△2.8%
業務用 携帯型	1,399	1,688	1,471	1,840	6,400	1,472	1,812	1,650	2,209	7,145	11.6%
その他	409	739	365	510	2,024	384	468	345	480	1,679	△17.1%
合計	9,446	10,768	9,296	12,641	42,153	10,985	13,648	12,131	13,325	50,091	18.8%

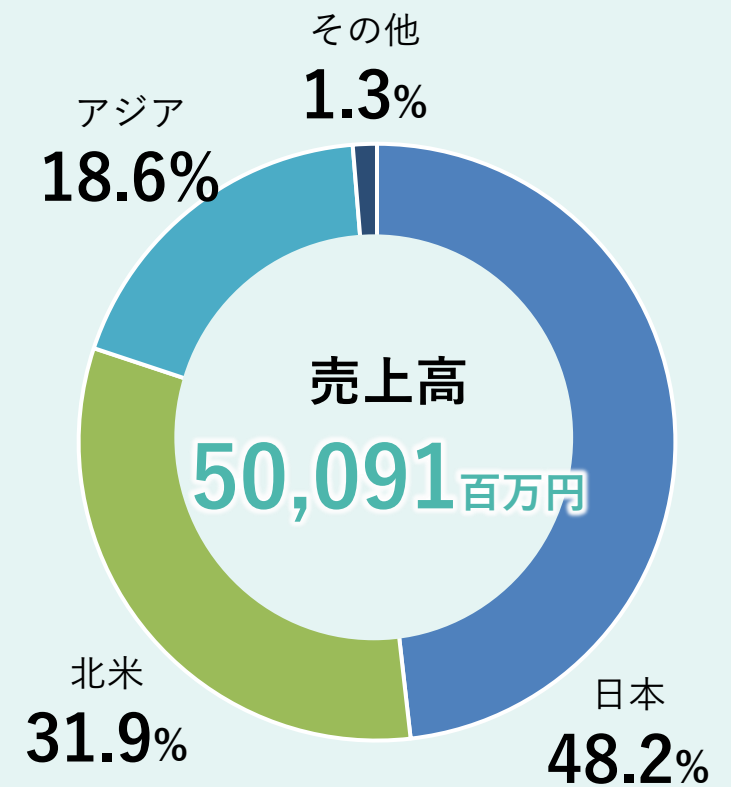


地域別の概況

- 北米の売上は第3四半期以降落ち着いているが、通期では大幅な増収となった。
- アジアは中国、台湾の半導体市場が持ち直し第4四半期以降は回復傾向。

(単位：百万円)

	2025年3月期					2026年3月期					前期比 増減率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計	
日本	5,092	5,675	5,278	6,642	22,688	5,060	5,995	5,767	7,329	24,152	6.5%
北米	1,702	1,874	2,042	3,348	8,968	3,850	5,167	3,883	3,042	15,944	77.8%
アジア	2,535	3,070	1,833	2,513	9,952	1,921	2,332	2,333	2,744	9,331	△6.2%
その他	116	148	141	136	543	152	152	148	209	663	22.0%
合計	9,446	10,768	9,296	12,641	42,153	10,985	13,648	12,131	13,325	50,091	18.8%

2026年3月期通期
地域別構成比

海外売上高比率：

51.8%

キャッシュフロー

- 現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動において減少も営業活動において増加。
- 営業活動によるキャッシュフローから投資活動によるキャッシュフローを差し引いたフリーキャッシュフローは37億5,400万円。
- 前期末と比較すると現金及び現金同等物は15億3,200万円増加し、202億4,500万円（前期末比8.2%増）。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期比 増減率
営業活動によるCF	4,887	5,959	21.9%
投資活動によるCF	△4,731	△2,205	△53.4%
財務活動によるCF	△1,670	△2,358	41.2%
現金及び現金同等物の増減額	△1,284	1,532	—

	2025年3月期	2026年3月期	前期比 増減率
現金及び現金同等物の 期末残高	18,713	20,245	8.2%

財政状態 (B/S)

総資産は前期末より61億5,600万円増加（前期末比9.1%増）で、734億4,400万円。負債は前期末比2,600万円減少（前期末比0.2%減）で、160億100万円。純資産は前期末比61億8,200万円の増加（前期末比12.1%増）で、574億4,300万円。結果、自己資本比率は前期末比1.9ポイント増の72.7%。

（単位：百万円）

資産の部	2025年3月期	2026年3月期
流動資産	42,910	46,878
有形固定資産	11,962	11,663
無形固定資産	1,478	1,387
投資その他の資産	10,936	13,515
固定資産合計	24,377	26,565
資産合計	67,288	73,444
負債・純資産の部	2025年3月期	2026年3月期
流動負債	9,099	9,081
固定負債	6,927	6,919
負債合計	16,027	16,001
株主資本	43,355	47,235
その他の包括利益累計額	4,298	6,146
非支配株主持分	3,607	4,061
純資産合計	51,260	57,443
負債純資産合計	67,288	73,444

04 2027年3月期の連結業績予想

業績予想

- 北米売上高においては、前期と比較すると弱含みで推移が予想される一方、中国市場の持ち直しが期待されることから、前期比1.8%増の51,000百万円を予想。
- 営業利益は、売上増を見込んでいるものの、資材価格の高騰、人件費の増加、減価償却費の増加、物価水準上昇の影響から、前期比18.4%減の6,000百万円を予想。

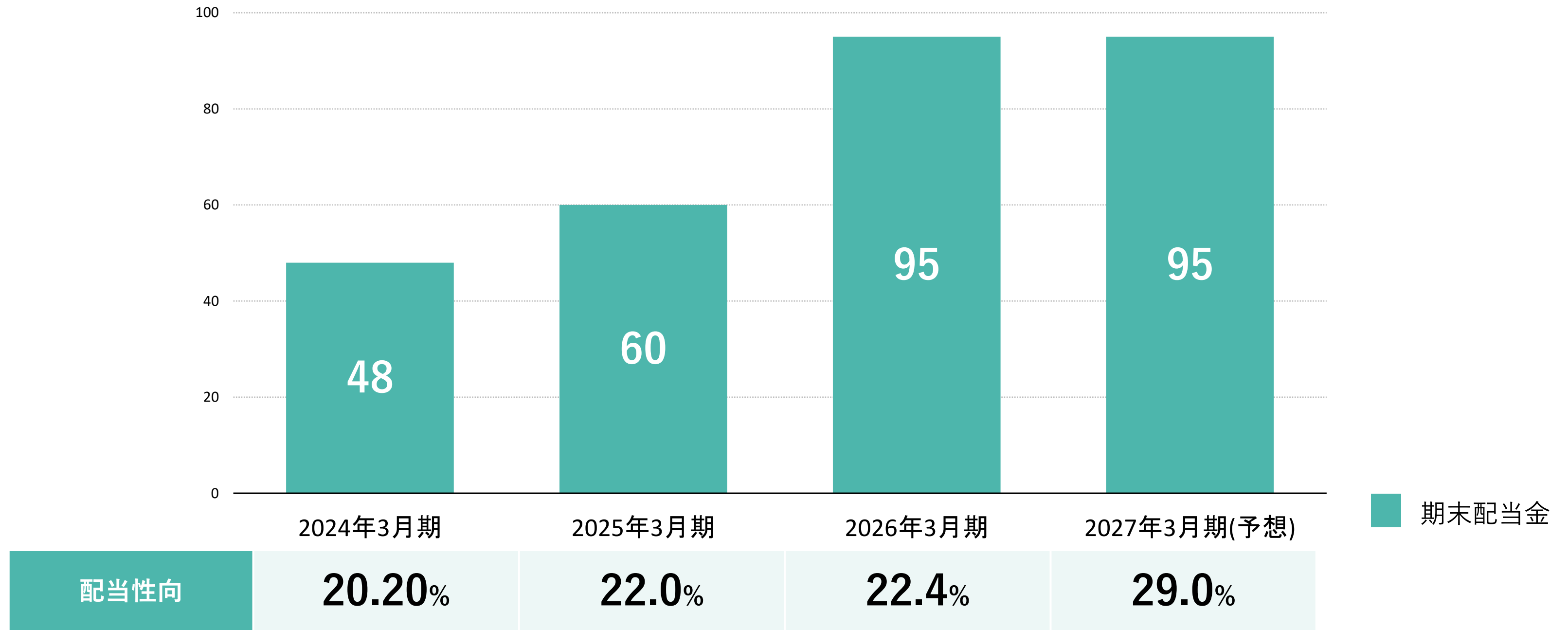
(単位：百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	前期比増減率
売上高	38,546	42,153	50,091	51,000	1.8%
営業利益	4,086	5,155	7,351	6,000	△18.4%
経常利益	4,809	5,451	7,921	6,320	△20.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,959	3,376	5,208	3,985	△23.5%

05 株主還元

配当金の推移

2027年3月期の期末配当は、95円を予想しています。



中期経営計画2年目

06 トピックス

防爆ファン付きウェア「AIR FLOW PRO」発売（2025年6月）

長年ガス警報器の開発で培った防爆設計技術を活かし、防爆エリアでの熱中症対策に役立つファン付きウェアを開発。多くの企業様に導入いただいています。



レーザー・アンモニア発売（2025年12月）

クリーンエネルギーとして利用が拡大しているアンモニアを遠隔検知。広範囲や高所・閉所など手が届きにくい場所の漏えい検知が可能。アンモニアを扱う産業現場の保安強化に貢献します。

Laser AMMONIA

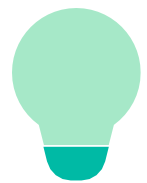


開発：東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 製造：株式会社ガスター



ガスセンサ技術で、

世界中のガス事故をなくす



新コスモス電機株式会社